

# 日刊 勤労千葉

83. 8. 15

No. 1417

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二五三五六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

## 勤労千葉の決意

8月8日をもってジェット燃料の貨車輸送は終了した。全ゆる密集した反動・弾圧に抗しつづき、たび重なる処分攻撃をものりこえて、ハンドルを武器に闘いぬいた五年間のジェット闘争は一つの転期を迎える。8・8集会を主催した勤労千葉は、この五年間の闘いの成果と教訓の絶対的確信の上に立ち、二期阻止・廃港への更なる闘いへと、新たな決意にもえ立っている。「8・8集会」では、自らも不当な解雇、停職処分攻撃をうけつつ最先頭で闘った吉岡組職部長、日暮成田支部長、田中青年部長が勤労千葉一三〇〇を代表して鮮明な決意表明を行った。紙面の都合上、吉岡、日暮両氏の発言要旨をここに紹介します。

### 五年間のジェット闘争の地平を堅持し、新たな闘いへ

勤労千葉組織部長 吉岡正明

今日、敵政府・空港公団は、パイプラインの完成をもって「空港のアキレス腱は無くなった。二期工事を強行せよ」というすさまじい攻撃をかけようとしている。我々は、「8・8」を期して突入した新たな三里塚二期情勢に対して、今日まで闘い続けてきた勤労連帯の絆にかけて、新たな決意のもと闘いぬいていくことを宣言する。

思い起せば、五年前の一九七八年「一〇〇日間闘争」を起点に勤労連帯ジェット闘争へと決起し、ついには首都圏をゆるがす5日間の「81・3スト」を、権力・当局・勤労革マルの密集した反動をぶち破って貫徹してきた。それは、今日の労働運動の右傾化の中では厳しい闘いであった。しかし、三里塚農民の苦闘に応え、軍事大国化攻撃が三里塚二期を軸にかけられている以上、労働者階級の責務にかけて決断し決起した。わが勤労千葉の仲間たちは、「これはゼニ・カネじゃないんだ」と言ってクビをかけてこの闘いを闘いぬいた。それは、十八年間も闘い続ける三里塚農民を思うからであり、その勝利のためであり、又80年代における戦争と反動と暗黒への道を阻止していく労働者階級の責務だと自覚したからだ。

又、この中で、あの現代のファシスト勤労一本部革マルと、分離独立までかけた闘いを我々はダテにやりぬいた訳ではない。それは、あの勤労「本部」革マルの道は、まさに戦争への道に通じるものだ、と見ぬいたからにはかならない。

# 勝利！ 三里塚ジェット闘争 労農連帯の旗のもと 新たな決意で前進する

### 労農連帯は不滅。廃港勝利まで共に闘い続ける

成田支部委員長 日暮 明

かえり見ますれば自分たちが鉄路を武器に闘った五年間のジェット燃料の貨車輸送が、今日終ります。今日、成田支部の組合員、とくにジェット燃料の輸送にたずさわってきた機関士の皆さん、そして佐倉支部の皆さん、非常に色々な犠牲とそして複雑な気持ちで今日を迎えたいように私は思います。

そして、この十八年の間、三里塚反対同盟との労農連帯の旗をかがげ、そして全国住民闘争の拠点である三里塚闘争と

本日をもって貨車輸送が無くなったとはいえ、否、であるからこそ、我々は労農連帯の絆を一層強化して、新たな飛躍もかけて明日からの闘いに決起する。

我々のなすべき、第一の任務は、今日の攻撃の最大の基軸として三里塚二期着工を絶対に粉碎しぬくことである。三里塚に勝利することの中にのみ、労働者・人民の未来があることを確認し、三里塚を軸にした労働運動を強化拡大していこう。三里塚から眼をそらした労働運動が、今日、一体どうなっているか。勤労「本部」革マルの転落・腐敗・墮落を見れば明瞭だ。

そして、第二に、わが勤労千葉がかかっているように八〇年代中期の戦略的課題は、三里塚に勝利し、そして敵が「行革断行」の焦点にすえて攻撃をかけてきているこの国鉄戦線をめぐる攻防に断固として実力でうちかっ撃ていくことである。当局の手先として闘いを抑え、国鉄労働運動解体の先兵と化した勤労「本部」革マルを粉碎し、職場からの大衆的実力決起をねばり強くかちとり、三里塚一国鉄決戦として高揚と勝利を勝ちとることである。

第三に、闘いの前進と緊迫化の中で発生してくる内部の反動・日和見主義をうちくくことである。「農地死守・空港絶対反対・一切の話し合い拒否・実力闘争」という原点をなげず、労農連帯ジェット闘争を否定する一部脱落派を粉碎することである。条件闘争を求めて同盟を分裂させ、「一坪再共有化」と称する土地の切り取りを断じて許してはならない。

わが勤労千葉は五年間のジェット闘争の地平を堅持・発展させ闘い続ける。十・九総力で三里塚へ結集しよう。ない、そういう闘いを全国で闘いぬかない限り、今の反動中曾根の改憲と戦争への道を止め得る事はできない、と私は思います。

そういう意味で、われわれ成田支部も、この「8・8」を契機に一定のジェットのハンドルを終えていきます。そして明日からは、反対同盟との連帯をより強固にし、全国の住民運動と手を結びながら、反核・反戦、そして何よりも三里塚二期着工粉碎にむけて闘い続けることを誓いまして、簡単ですけれども成田支部組合員を代表しましての決意の表明といたします。

全組合員・家族の団結で組織破壊攻撃を